



柳沢中学校通信

朱雀の翼

西東京市立柳沢中学校
校長 浅野 周子
電話番号 042-463-5014
FAX番号 042-462-3104
令和7年1月27日第9号

令和7年を迎えて



1月のキーワードは、「挨拶」です。

新しい年と共に、新しい学期を迎え、心機一転、気持ちを新たに、この1月を過ごしてきた人も多いのではないのでしょうか。

冬休みは、いつもより家族と一緒にいる時間が長くあり、お手伝いや会話をする機会も多かったのではないのでしょうか。今年はどんな年にしたいか、抱負を話題にした人もいたことでしょう。

さて、この3学期は、**今年度のまとめをしっかりとしながら、4月からの新しい生活の準備**をしていきましょう。

3年生は、頑張りどき。4月からの楽しい高校生活を実現するためです。2階の廊下を歩きながら、「頑張り3年生！」とエールを送ります。

2年生は、来年、進路決定する時に慌てないように、今からあたり前のことをあたり前に行い、「柳沢中の顔、最高学年」になる準備をしていきましょう。

1年生は、学校を支える「大黒柱、中堅学年」になっていきます。入学してくる1年生たちに尊敬される先輩になれるよう準備をしていきましょう。

皆さん1人1人が、自分の夢や目標に向かって努力することで、自分自身で素晴らしい未来を切り拓くことができるのです。



ということで、今年も多くの「挑戦」が待っています。勇気を出していろいろなことに挑戦していきましょう。

学校は、学力を付けるところ。勉強は、知識や技能を身に付ける修行です。行事や部活動、人との関係づくりなど、さまざまな場面は自分を成長させるチャンスです。

時には困難なこともあるでしょう。しかし、そんな時こそ、皆さんの心の中に「巳（み）蛇」のように自己を再生し、柔軟に対応する意識をもってほしいです。困難にぶち当たるときは、自分が成長するときとされています。そして、ルロイ修道士が「困難は分割せよ」と言っていましたね。困難は、少しずつ解決していけばいいのです。1人で解決できないとき、1人で抱えこまないで誰かに相談して協力し合うことで乗り越えることができるはずですよ。

最後に、私たちの学校、柳沢中学校は、みんなで支え合い、高め合う場所です。今年も互いに助け合い、励まし合いながら、共に成長していきましょう。

今年が皆さんにとって素晴らしい一年となりますように願っています。

※ルロイ修道士は、井上ひさし著「握手」の登場人物

へびにまつわる民話

あるところに、村人から恐れられ、厄介者扱いされている一匹の青大将がいました。その蛇は、作物を荒らすネズミを食べてくれるにもかかわらず、その見た目から嫌われ、追い払われてばかりいました。ある年、村は大干ばつに見舞われ、作物は枯れ、人々は飢えに苦しみました。その時、村の長老が「蛇は、雨乞いの神様の使いという言い伝えがある。もしかしたら、あの蛇を大切にすれば、雨を降らせてくれるかもしれない。」と言いました。

村人たちは、半信半疑ながらも、その蛇に、毎日少しずつ水と食べ物を供え、ネズミを食べてくれることへの感謝の気持ちを伝えました。すると、不思議なことに、数日後、空には黒い雲が現れ、恵みの雨が降り始めたのです。村人たちは大喜びで蛇に感謝しました。それ以来、その蛇は村の守り神として大切にされるようになったということです。

今年の干支は「巳（み）」、蛇です。蛇は古来より、脱皮を繰り返す、古い皮を脱ぎ捨てて新しい自分になるということから「再生」や「生命力」の象徴とされています。また、「知恵」や「財運」の象徴としても大切にされてきました。

新たな目標に向かって挑戦する良い時期です。
失敗を恐れずに、積極的に新しいことに挑戦し、成長していく一年にしましょう。



どんど焼き 1月12日

伝統的地域行事

今年も保谷二小でどんど焼きが盛大に行われ、たくさんの人で賑わい、本校のボランティア生徒も活躍していました。このように、伝統的な地域行事を継承している柳沢地域は素晴らしいです。

「どんど焼き」は、松の内（※1月15日）まで飾っていた正月飾り（松飾りやしめ縄）、お正月にしたためた書き初め、昨年拝受したお札・お守り・破魔矢などを、神社や地域の広場・畑などに持ち寄ってお焚き上げる伝統的な火祭神事（小正月における地域行事）です。

どんど焼きは、正月飾りを目印に各家に年神様をお迎えした正月飾りをお焚き上げる煙とともに「お見送りする」という意味もあり、お盆の「送り火」に類似します。昨年拝受したお札やお守り・縁起物を正月飾りと一緒にお焚き上げし、五穀豊穡、商売繁盛、家内安全、無病息災を願います。

諸説ありますが、平安時代の宮中行事で1月15日の夜に正月飾りや授与品をお焚き上げる「左義長」がどんど焼きの元であり、これが庶民にも伝わって現在のどんど焼きになったようです。

昔から火（炎）は穢れ（けがれ）を清め、生命を生み出すと考えられ、神聖な火（炎）でお焚き上げするどんど焼きには、日本古来の風習が今もなお伝承されています。今後も語り継いでいきたいですね。



3学期の目標を達成するためには

各教室には、3学期の目標が掲示されています。勉強や生活面の改善に関する目標が多いですが、目標を達成するための具体的な行動を丁寧に詳しく書いている生徒が増えてきて感心しました。

- 少しずつ整理し手捨てたり片付ける。
- 勉強量を増やすには、携帯をさわる時間を制限して、今まで携帯を触っていた時間を勉強する時間にうつす。
- アラームを6時20分にかける。
- 時間を守れるように、5分前行動をこころがける。
- 家での手伝いやボランティア活動に積極的に取り組む。
- ゲーム時間を減らして、10時20分までに寝る。
- 毎朝7時に起きることを習慣化する。
- やることを夜遅くからではなく、家に帰ったらなるべく早く行動する。
- 毎日、10分単語を書く習慣をつける。文法をノートに書いて理解する。
- 大きい声で相手に聞こえるように自分からあいさつをする。
- 睡眠時間、栄養場バランスの見直し、適度な運動をする。
- 寝る前に必ず、次の日の準備をして忘れ物を無くす。
- 毎日、ワークやファイルで復習し、テスト前から早く準備する。



人のために何かしたいという気持ち

今年度の学校評価（生徒アンケート）の結果で「私は、ボランティアや奉仕活動、清掃活動を通して、前向きに活動していた。」について肯定的回答率は、75.7%でした。これは、昨年度より11%増え、ボランティア活動に興味をもっている人が増加傾向であるということです。

柳沢中学校では、「社会に貢献する生徒の育成」も目指しています。私たちは、1人では生きていけません。身の回りには、学校や地域、社会全体がつながる仕組みがあり、さまざまな人々の働きで私たちの生活は成り立っています。お互いに助け合って、支え合って生きていく社会づくりをめざして、1人1人が社会に貢献することが大切です。みんなができることを少しずつ実践していくことが必要です。例えば、自然環境を守るためにリサイクルや節電を心がけることも未来のための貢献です。

進んであいさつをする人が増えれば、明るくさわやかな雰囲気の良い社会となり、みんなが居心地の良い社会になります。

「人のために何かしたい」という人が多くなれば多くなるほど、住みやすい社会の実現につながるのです。